

物流ニッポン

平成23年9月29日(木曜日) 株式会社物流ニッポン新聞社

新型アルコール検知器

機能絞り込み低価格

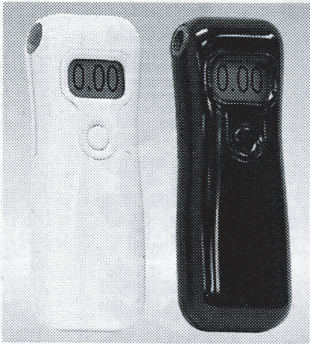
発生音で正確チェック

トライプロ

トライプロ(高木宏昌社長、川崎市高津区)は、アルコール検知器使用の義務化に対応し、10月1日からハンディ型アルコール検知器「PT-1000」を発売する。

世界16か国の警察の取り締まりに使用されている燃料電池式センサーを搭載。呼気中のエタノールガスのみに反応するのが特徴で、長期に安定した出力を維持、「誤反応による業務トラブル」防止も期待できる。測定完了時の音で「アルコール反応の有無」が判断

機能を厳選した「PT-1000」



できるのも特徴。反応の有無で発生音が変わる。ドライバーの自己申告に頼らず、管理者が音で判断できるため、より正確なチェックが可能。データ保存式検知器

と異なり、その場の発生音で検知、漏れなくチェックできる。営業所に帰庫した際、飲酒運転が判明するなどのアクシデントを未然に防ぐ。高木社長は、大手飲酒検知器メーカー出身で、アルコール検知器の黎明(れいめい)期から開発・販売に携わる。高木氏は「コスト

と性能のバランスを重視した機器。『電子データの記録保存の必要はなく、その場で正確な結果が分かれば良い』と考える事業者向き。電話点呼の多い長距離輸送の事業者向き」と提言。運送事業者からの声を基に機器を選定し、使い勝手にこだわった商品。機能を厳選した結果、安く提供できた」と自信を見せる。

業者の負担軽減に寄与する。低価格化を実現したことから、ドライバー出社前のチェック用の需要も見込む。さらに、年内の購入に限り、アスク・ヒューマン・ケア(今成知美社長、東京都中央区)が発行する「アルコールの基礎知識」「飲酒運転防止」から『健康管理』までの冊子も1台に1冊プレゼントするなど、運送事業者の安全体制の構築をサポートしていく。

(鈴木 崇宏)